



# 補習校だより

平成25年度 第39号

平成26年2月22日発行

マイアミ補習校

校長 永井 晋

事務所 305-406-0050

校長携帯 917-521-5768

ホームページ [miamihoshuko.org](http://miamihoshuko.org)

E-mail [hoshuko@bellsouth.net](mailto:hoshuko@bellsouth.net)

## 学習発表会

校長 永井 晋

先週は学習発表会を行いました。本校の学習発表会は今年度1年間の学習の成果を展示か舞台あるいは両方の中から各学年が選び発表するものです。幼稚部から中3までが一度に発表をするので、バラエティーに富んだ内容です。幼稚部の「制作」で行った缺の練習や折り紙の作品から中3生が舞台発表した「歌舞伎の隈取り」まで見ていてもとても興味深い発表でした。今回、展示発表の部と舞台発表の部に分けて発表を行いました。一見舞台発表の方が楽しいものに思えます。では展示発表の意義はどこにあるのでしょうか。幼稚部を除いてどの学年も日本語で他人に見てもらうことを前提に「まとめ」を行いました。国語の学習に於いて、発達段階の違いはあれ、この「まとめ」という作業はどの学年でも行う重要な内容です。他人が見てわかりやすく「まとめ」るのは意外と難しく、きちんと国語を学習しないと見に付かない力です。その「まとめ」る力をそれぞれの学年のある単元を題材に発表しているのです。そういう観点でご覧いただくと、各発達段階における力の差(学年による学習内容)がよくわかると思います。子供たちも、見られることを意識してまとめると、字も丁寧になり、どうやったら分かりやすく「まとめ」られるかを考えながら作品を仕上げますので学習効果も高くなります。

では、舞台発表はどうでしょう。これはもちろん聴衆の前で発表するので、緊張しますし、

きちんとした言葉をはっきりと話さなくてはなりませんから、大きな意味があります。展示と舞台、

どちらが優れているとか劣っているとか優劣はつけられません。子供たちが一生懸命取り組んだ結果がどちらにも表れているものだと思います。

